

（仮称）第 2 期「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の策定に向けた今後の進め方

(仮称) 第2期「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けた検討

人口減少対策・桐生ならではの地方創生に向けた取組の推進

2015年度-2019年度

第1期

桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(以下、「現総合戦略」という。)

【4つの基本目標】

1. 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する
2. 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す
3. 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる
4. 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

2020年度-2024年度

(仮称) 第2期

桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(以下、「次期総合戦略」という。)

次期総合戦略の策定において勘案等する事項

次期総合戦略の策定に当たっては、現総合戦略の効果検証を踏まえるとともに、以下の事項を勘案等し、調整する。

- ◎ 桐生市人口ビジョン（第六次桐生市総合計画の目標とする将来人口）
- ◎ 桐生市総合戦略推進委員会意見書
- ◎ 桐生市総合計画審議会からの答申（付帯意見）：別添1
- ◎ 市長公約検討チームの検討状況
- ◎ 国及び群馬県のまち・ひと・しごと創生総合戦略
- ◎ 地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和元年6月版）

また、国の財政支援である地方創生関係交付金や企業版ふるさと納税を活用する場合、地方版総合戦略に位置付けが必要となることに留意する。

◎ 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019について」から引用
＜第2期における新たな視点＞

第2期（2020年度～2024年度）においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ◆ 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
 - ◆ 企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。
- (2) 新しい時代の流れを力にする
 - ◆ Society5.0の実現に向けた技術の活用。
 - ◆ SDGsを原動力とした地方創生。
 - ◆ 「地方から世界へ」。
- (3) 人材を育て活かす
 - ◆ 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。
- (4) 民間と協働する
 - ◆ 地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ◆ 女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。
- (6) 地域経営の視点で取り組む
 - ◆ 地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

桐生市人口ビジョンの改訂

「桐生市人口ビジョン」で示した目標とする将来人口（以下、「将来人口」という。）については、2040年、2060年の長期的な目標であることから、次期総合戦略においても、将来人口の規模を据え置くこととし、国から示された「地方人口ビジョンの策定のための手引き（令和元年6月版）」に基づき統計資料等の時点修正を行うこととする。

なお、一体的な計画として先に策定を進めた「第六次桐生市総合計画（9月12日時点行政案）（以下、「次期総合計画」という。）」では、以下のとおり、「桐生市人口ビジョン」を基に、計画の最終年度の将来人口を設定したところである。

3 人口等の将来展望（第六次桐生市総合計画」基本構想から引用）

全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中、本市では人口減少の抑制を目指して2015年度（平成27年度）に「桐生市人口ビジョン」を策定し、人口の将来展望として、2040年に約83,000人、2060年に約61,000人の人口を維持することを目標として設定しています。

目標の達成に向けては、本計画の重点施策として位置づけた施策により構成される「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、出生や転入の促進、転出の抑制を図ることが重要となります。

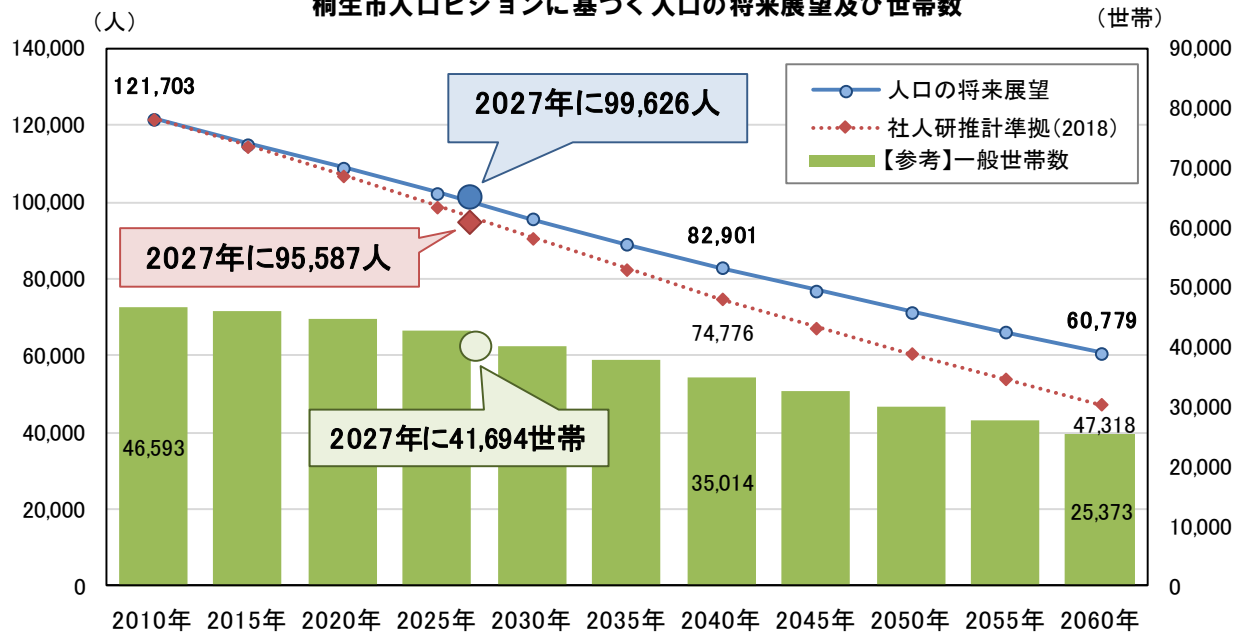
こうした状況を踏まえ、本計画における人口の将来展望は、人口ビジョンの目標値に準拠し、2023年の目標とする将来人口を約105,000人、計画の最終年度である2027年の目標とする将来人口を約99,600人とします。

なお、今日のまちづくりにおける問題（介護・空き家・買い物等）は、“個人”ではなく、“家族（世帯）”の観点から捉えることも必要であることから、参考として世帯数の推計を行っています。本計画における将来人口を前提にした将来の世帯数は、2023年には約43,400世帯、2027年には約41,700世帯になることが想定されます。

【目標とする将来人口】

2027年 約99,600人（2023年 約105,000人）

桐生市人口ビジョンに基づく人口の将来展望及び世帯数

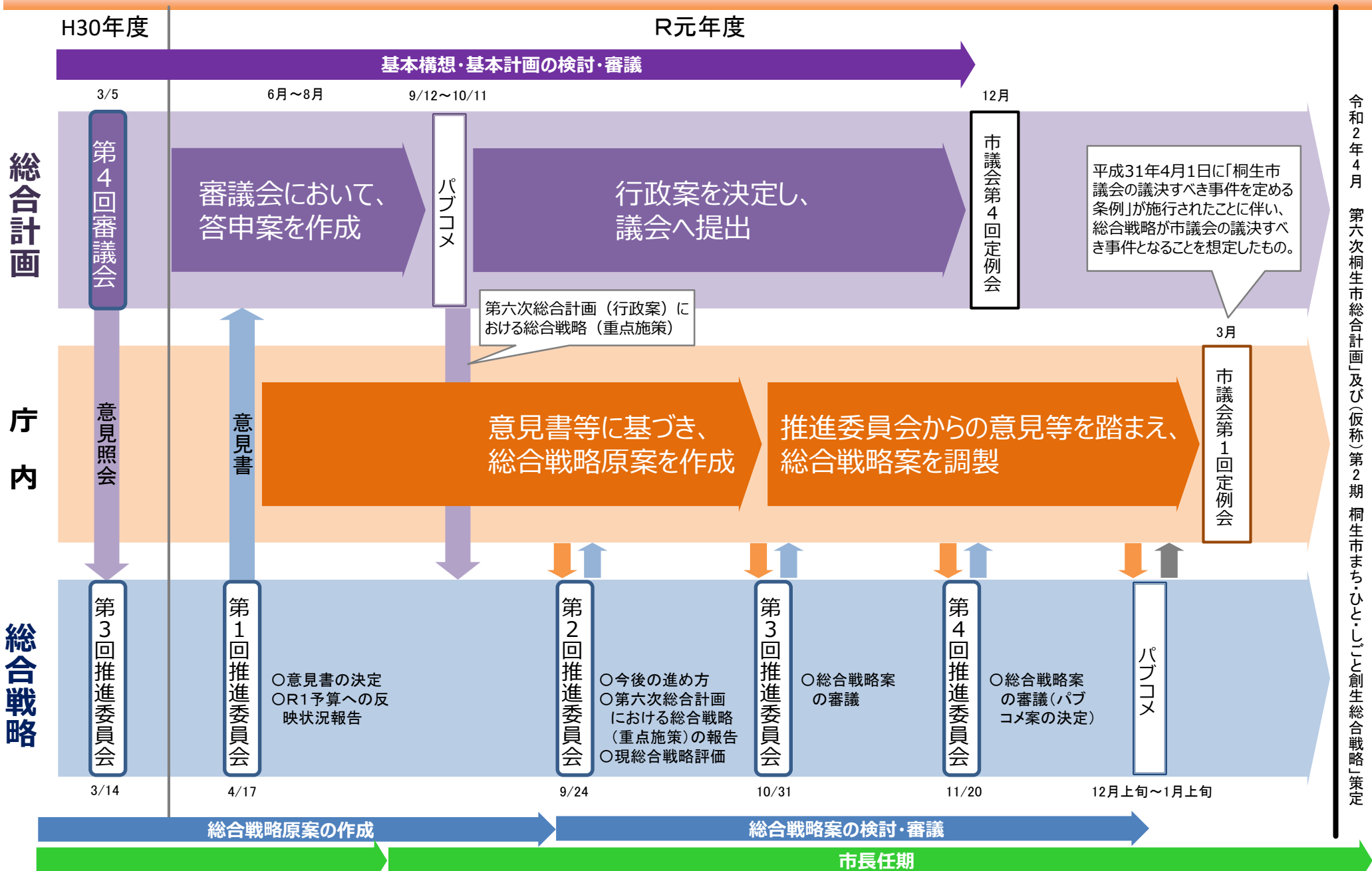


※人口の将来展望は、桐生市人口ビジョンに掲載された推計値

※社人研推計は、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）による「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」に準拠し、2060年まで延伸した推計

※世帯数は、本市の将来の人口規模・構造（性別・年齢別）とリンクした世帯数推計を行う「世帯主率法」による推計（桐生市の国勢調査（2015年）結果から性別・年齢別世帯主率を算出し、社人研の「日本の世帯数推計」における将来世帯主率仮定値により、2020年以降の将来世帯主率を仮定した上で推計）

次期総合戦略の策定スケジュール



令和2年4月 第六次桐生市総合計画「及び（仮称）第2期 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定